

2024 年度 ALPS 国際シンポジウム

# 多様化する国際情勢下の地球温暖化対策 と主要先進国の政策の取り組みについて

2025年2月4日(火) 10:00 ~ 17:00

虎ノ門ヒルズフォーラム ホール B (4F)

主催：公益財団法人 地球環境産業技術研究機構 共催：経済産業省

入場無料  
同時通訳あり

## ごあいさつ

RITEでは、経済産業省の委託事業として「地球温暖化対策技術の分析・評価に関する国際連携事業」（通称 ALPS: ALternative Pathways toward Sustainable development and climate stabilization）を実施しています。この研究事業では、グリーン成長に資する国際枠組み、国際戦略立案に資する研究を進めており、また長期の気候変動リスクにどう対応するか、について検討を行っています。カーボンニュートラル実現のためには、再生可能エネルギー、原子力、CO2回収貯留（CCS）、水素系エネルギー、そして大気中CO2回収技術（DAC）なども含め、様々な対策が必要です。また、様々な省エネは引き続き、重要な対策と考えられ、更にデジタルトランスフォーメーション（DX）によって誘発されるサーキュラー・シェアリングエコノミーなどは、エネルギー需要量を低減できる大きな社会変化の可能性を有しています。グリーントランスフォーメーション（GX）実現に向けて、このような様々な対策の貢献がどのように期待できるのかについて、定量的かつ包括的なシナリオ分析等を行っています。そして、地球温暖化問題研究で世界的に著名なオーストリアの国際応用システム分析研究所（IIASA: International Institute for Applied Systems Analysis）、米国の未来資源研究所（RFF: Resources for the Future）、国際エネルギー機関（IEA）をはじめ、世界の研究機関とも協力しながら研究を進め、我が国の気候変動政策の立案、IPCCやCOPでの国際的な議論に貢献することを目的としています。現在、世界では2050年カーボンニュートラルに向けた排出削減と経済成長・産業競争力強化を共に実現していくため、GXへの取り組みを加速させています。我が国においては、2023年2月に「GX実現に向けた基本方針」が、7月には「GX推進戦略」が閣議決定され、12月には「分野別投資戦略（案）」の予算額等もとりまとめられ、投資促進策の具体化に向けた方針が明らかにされています。世界各国においても、米国では22年8月に成立した「インフレ削減法（IRA）」にて、気候変動対策として国による約50兆円の予算が充てられ、EUでは23年2月発表の「グリーンディール産業計画等」により、官民で約140兆円の投資誘導を見込むなど、投資促進政策の動きが加速しております。

世界は、気候変動危機に対応すべく、1.5℃目標、2050年のカーボンニュートラルの実現に向けて取り組みを強化しています。しかしながら、世界排出量は引き続き増大基調にあります。さらに、終結の見通しが立たないロシアとウクライナの戦争や中東の軍事紛争の深刻化、さらには米国大統領選挙でのトランプ前大統領勝利による政権交代をはじめ、世界の政治情勢も不安定化するなど、国際情勢は不確実性が高まっています。このような中、日本は、2050年カーボンニュートラルに向けた排出削減と経済成長・産業競争力強化を共に実現していくため、GX政策を進めており、GX2040ビジョン案もとりまとめられたところです。また、製造業の拠点はアジアにあり、GX2040ビジョンでもアジアでの脱炭素化の協力強化の方針も打ち出されるところです。

これら現状の分析や1.5℃目標の実現への課題について焦点を当てつつ、本研究事業の成果報告会を兼ねて2024年度ALPS国際シンポジウムを開催します。本シンポジウムでは、欧米、アジアの著名な専門家による、国際動向や今後の展望を様々な視点から紹介いただきます。最新の研究成果を皆様への取り組みへの参考にしていただけるよう多くの皆様のご参加をお願い申し上げます。

公益財団法人 地球環境産業技術研究機構（RITE） 理事長 山地 憲治

## お問い合わせ

公益財団法人 地球環境産業技術研究機構 システム研究グループ  
E-mail: alpssympo@rite.or.jp TEL: 0774-75-2304

## プログラム

10:00	開会挨拶	山地 憲治 公益財団法人地球環境産業技術研究機構 (RITE) 理事長
10:05	挨拶	経済産業省 大臣官房審議官 (GX 担当) (予定)
10:15	趣旨説明	秋元 圭吾 RITE システム研究グループ グループリーダー
10:30	講演	『Global transformations and policies toward carbon-neutral world』 Dr. Nakicenovic, Distinguished Emeritus Scholar and Former Deputy Director General, International Institute for Applied Systems Analysis (IIASA)
11:20	講演	『東南アジアの展望、政策関連 (仮)』 Dr. Shobhakar Dhakal, Professor, Asian Institute of Technology (AIT)
12:10	休憩	
13:10	講演	『アジアの展望、韓国の政策関連 (仮)』 Dr. Tae Yong Jung, Professor of Sustainable Development, Yonsei University (延世大学)
14:00	講演	『米国の政策動向、CBAM (仮)』 Dr. Milan Elkerbout, Fellow, Resources for the Future (RFF)
14:50	講演	『米国政策展望 (仮)』 上野貴弘氏 電力中央研究所 社会経済研究所 研究推進マネージャー (サステナビリティ)・上席研究員
15:40	講演	『日本の排出削減シナリオ分析と政策動向』 秋元 圭吾 RITE システム研究グループ グループリーダー
16:30	閉会挨拶	本庄 孝志 RITE 専務理事
16:40	閉会	

※当日、会場での講演資料の配布はございません。WEB 上で随時公開しますのでご覧ください。

## お申込

**申込締切 1月28日(火)**

お申込み先: <https://www.rite.or.jp/fy2024alpssympo.html>

お問合せ先: [alpssympo@rite.or.jp](mailto:alpssympo@rite.or.jp)

※ご提供いただいた個人情報、今後当機構の関係するイベント等のご案内のために利用させていただきます。



## 会場

虎ノ門ヒルズフォーラム ホール B (4F)  
〒105-6305 東京都港区虎ノ門 1-23-3 虎ノ門ヒルズ森タワー 4 階  
日比谷線「虎ノ門ヒルズ駅」B1 出口、A1b 出口  
銀座線「虎ノ門駅」B1 出口、B4 出口 (2 階デッキ経由)

